

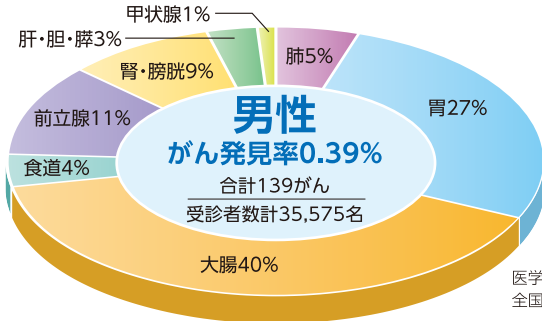
確かな安心のために

当会は、「確かな安心」をお届けすることを品質目標に掲げ、検査精度の向上を図っています。
当会の取り組みの成果をご紹介します

当会人間ドックのがん発見数

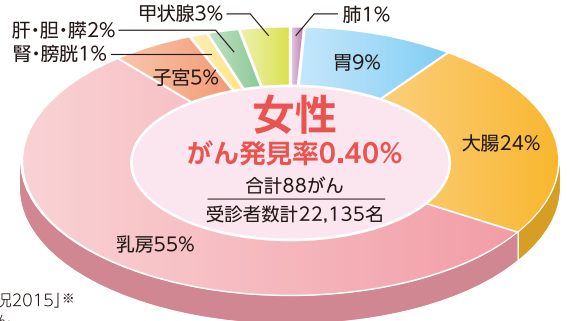
精密検査後のフォローアップを行い、その結果を公表しています。

当会2018年度実績

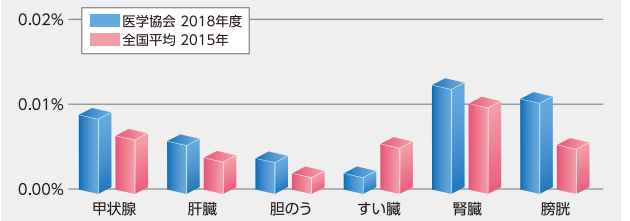
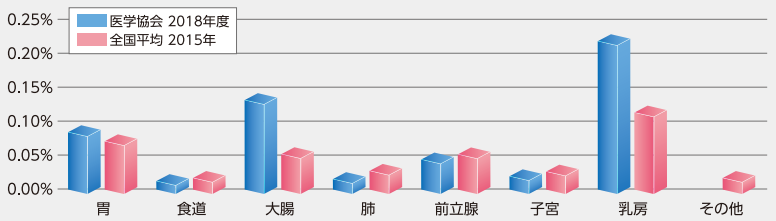


がん発見数 [227件]
がん発見率 [0.393%]
全国平均 [0.276%] (2015年)

医学協会: 当会人間ドック実績 (2018年度)
全国平均: 日本人間ドック学会「人間ドックの現状2015」※
※2015年以降の実績は公表されていません。



部位別のがん発見率(全国平均との比較)

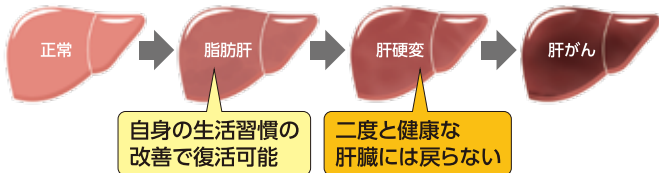


「隠れ脂肪肝」が危ない!

血液項目「FIB4インデックス」を無料の基本項目へ、独自に導入しました。

① FIB4インデックスでわかる「肝臓の硬さ」とは

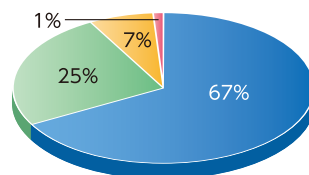
『沈黙の臓器』と言われる肝臓は、自覚症状がないまま病気が進行します。特に注意が必要なのは「脂肪肝」。自覚症状がなく、放っておくと、線維化が肝臓全体に広がり、「肝硬変」へと進んでしまいます。



② 当会データから

2018年度の当会人間ドック受診者の結果からFIB4インデックスを算出すると、約650名の方に、高リスクの判定がつかしました。

■ FIB4インデックス判別割合



FIB4判定	人数	基準値 (FIB4-index)
A判定	40,299	1.29以下
B判定	14,356	1.30以上
C判定	3,773	1.30以上2.66以下かつASTまたはALT31以上
C判定 高リスク	656	2.67以上かつASTまたはALT31以上

新オプション検査「血糖モニター24時間」

～急激な血糖値上昇「血糖値スパイク(食後高血糖)」を見つける～
血糖値は、食べる順序で、本当に違うの? ご自身で体感してください!

① オプション検査

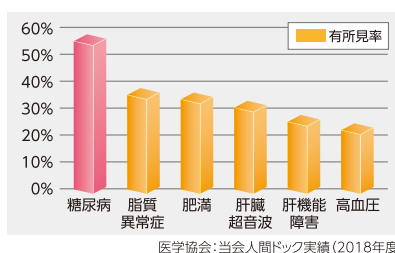
「血糖モニター24時間」を導入 NEW

「血糖モニター24時間」は、専用測定器を腕につけて、2週間にわたって測定します。血糖の変動を「点」ではなく「線」で把握できます!



② 「糖尿病」は、重要疾患のひとつ

糖尿病有病者と糖尿病予備群は合わせて約2,000万人いるといわれています。(国民健康栄養調査)
当会ドックの結果からでは、54%の方に所見がみとめられます。



③ 「血糖値スパイク」が危ない

最近の研究で、普段は正常な血糖値でも、食後の短時間に急激に血糖値があがるという現象が分かってきました。急激な上昇をすることにより、血管を傷つけ、動脈硬化が進行し、やがて、脳梗塞や心筋梗塞を引き起こすと言われています。

